

レスキュー練習会・海上パトロール

令和3年11月8日

- 日時：令和3年10月10日（日） 9:00～13:00 <レスキュー練習会>
令和3年10月16日（土） 9:00～13:00 <海上パトロール>
- 場所：マリパーク御前崎・御前崎海岸
- 参加者：10日：増田、福井、藤井、野村、久保田、勝又、河原崎
16日：増田、土屋、久保田

10月度は月末に水上安全啓蒙活動を実施している団体である、WRMAの資格講習会があるということもあり、みなさん各々に課題を持って訓練や海上パトロールに取り組んでいただいた。またこれからの季節に増えるウィンドサーフィンの事故が起きた際の対処方法なども合わせて行った。

10月10日のレスキュー練習会では各自、月末の資格講習に向けての訓練を実施。ベテランの参加者による陸からのチェックや実際にバックシートに乗り、操船練習を行うなどして細部にわたるまで訓練を行った。またオリンピックの監視活動に参加されたスタッフによる最新のレスキュー手法なども一部共有していただき、内容の濃い訓練となった。

10月16日の海上パトロールは天候も穏やかだったということもあり、外海から御前崎港までを全てパトロールした。風も弱くうねりもそれほど入っていなかったため、海岸や港には釣りを楽しまれる方が非常に多かった。そのため釣り人の邪魔にならない距離から、危険な場所で釣りをしている人がいないかなどを注視しながら航行、特に異常はなかった。

これから年末にかけて西風シーズンに突入することで、サーファーやウィンドサーファーの漂流事故が多くなることが予想される。特にウィンドサーフィンに関してはオフシーズンのメンテナンス不足により道具が劣化し、事故に至るケースが多いためホームページやSNSなどで注意喚起を促していく。



Omaezaki Smile Project
一般社団法人 御前崎スマイルプロジェクト

海上クリーン作戦 2021

2021年 11月1日

- 日時：令和3年10月24日（月） 9：00～11：30
- 場所：御前崎港マリーナ～久々生海岸および周辺海域
- 参加者：(OSP) 増田、福井、近藤

(御前崎マリンスポーツクラブ) 植田、永井、鈴木

(SUPクラブ) 永松、曾根、北村、山田、他14名

(トールスピリットがカンパニー) 大町、他9名

(アスコミュニケーション)川口、他1名

昨年度、実施計画がされるもコロナにより開催できていなかった海上クリーン作戦。今年度も8月末から9月いっぱいまで緊急事態宣言下ということもあり、延期となっていたが、9月末日での宣言解除を受け、やっと実施できることとなった。

このイベントはビーチに流れ着く前に、マリンスポーツ愛好家により、海上で浮遊しているゴミを集めてしまおうというイベントで水上オートバイ3艇、SUP18艇、ヨット1艇、手漕ぎボート1艇にそれぞれ乗り込み、御前崎港マリーナから出艇、対岸に見える久々生海岸までの約1kmの海域でゴミを拾いながら航行するというもの。渚の交番からの呼びかけで非常に多くの方がお集まりくださり、ビーチでゴミ拾いしてくださる方も含め、36名の方にご参加いただくことができた。

また、風波アソシエイツ様より水上でのごみ集めに必要なメッシュ袋とそのフックを大量にご協賛いただくことができ、よりスムーズに活動を実施することができた。実際にSUPでゴミ拾いを実施された方からは「水上というよりも浅瀬の底に沈んでいるポリ袋などが目について、パドルで拾いあげた後、メッシュ袋にゴミをいれて水を切りながら岸まで運んできた。」とその有用性が示される声が聞かれた。

集めたごみは久々生海岸へ持ち寄り、海岸の漂着ゴミと共に、アスコミュニケーションの川口様に処理していただくこととなった。川口様は久々生海岸を拠点とし、自然体験活動を推進している団体の代表で、今回も多大なるご協力をいただいた。参加者のみなさんへ向けても漂着ゴミの現状や御前崎におけるビーチクリーンの必要性、生物への影響などについてお話していただき、自然環境保護の重要性を伝えてくださった。

大きな事故や怪我もなく終わることができ、最後に今回集めたごみと共に、記念撮影をしてイベント終了となった。今後も、同様の活動を継続し、環境保全啓蒙を図るとともに、同じフィールドを楽しむ者同士、協力し合える関係性を作るための一助となるよう推進していきたい。



WRMA レスキュー資格講習会 2021 in 御前崎

2021年 11月1日

- 日時：令和3年10月30日（土）、31日（日） 9：30～16：30
- 場所：マリンパーク御前崎
- 参加者：（WRMA 本部）野口、寺田、石橋
（御前崎渚の交番）増田、福井
（水難救済会、シーバード各拠点）土屋、野村、福島、河原崎、田中、鈴木、他
（各地区消防機関）御前崎市消防2名、西尾市消防1名、名古屋市消防2名、他
（一般）数名

2021年10月30、31日の二日間で開催されたWRMAレスキュー資格取得講習会、今回、2日間で延べ38名の参加があった。参加者は公務救難機関、民間救難機関、地元サーファー、行政職員、一般市民と様々な職種の方々と、相互に刺激を受け合える講習となった。

初日の30日は気候も穏やかで、若干の風うねりはあるものの、日光がふりそそぐ、秋晴れの中での開催となった。参加者はそれぞれ取得するレベルに合わせてグループ分けされ、レベル1受講者2班、レベル2受講者1班、訓練参加者1班で各班3~4名の編成となった。それぞれにインストラクターが付いて、4艇の水上オートバイを使用して講習が進められた。レベル1のグループには消防隊員含め、操船そのものに慣れていない者も多かった様子で、まずは操船訓練から。風波とは言え、慣れていない方たちにとっては操船しにくい状況だったようで苦戦している様子が見受けられた。

レベル2の受講者においてはさすがに基本的な操船はできている様子で、艇になれる意味でもレベル1の内容の復習を行ったが、やはり風波の中でのレスキュー手法には手間取っていた。訓練参加のメンバーもレベル1の復習から入ったが、普段から練習会に参加している面々でもあり、迅速ではないものの、今回の参加者の中では一番形になっていた。同じ内容を繰り返し行い、習熟度を高めた後、レベル1の受講者はレベル1のフォーメーションA、Bをレベル2の受講者もレベル2のラウンドA、Bを実施。訓練参加者もレベル2と同様、ラウンド手法の復習を実施。それぞれのレベルで反復して練習を行い、午前中は終了。

午後に入り、午前の復習を軽く行った後、それぞれのレベルのフォーメーションC、Dの練習を行った。CおよびDについては意識なしの要救助者を想定したレスキュー手法となるため、体力も必要となり、受講者の顔にも必死さが伺えた。それに伴い、それぞれの習熟度も増し、一日の講習が終わる頃には、ほとんどの受講者がある程度の形でレスキュー手法ができるまでになっていた。日没間際の時間となり講習は終了、寒さに震える受講者も見受けられたが、誰一人掛けることなく、無事に一日目を終えた。

2日目、前日から継続で参加している方も半数以上おり、2日目のみの受講者も加えて初日と同等の人数での開催となった。コンディショナルには初日以上に風が吹き、海面が荒れている状況となった。波はそれほど大きくないが、うねりが風でつぶされ、非常に操船しにくい中での講習会。操船に慣れていない参加者は普通に航行するだけでも苦勞しており、時折、操船ミスで落水する姿も見受けられた。新しい技術を習得するには難しいコンディションではあったが、受講者はみんな熱心で苦戦しながらも一生懸命、レスキュー手法を繰り返し行って習得に励んでいた。

2日間連続で参加している者の中には疲れもある様子だったが、それぞれに励まし合い、艇の運搬時や手法の中での呼称においても声が絶えることはなく、非常に良い雰囲気の中、講習が進められた。な

なかなか要領が得られず、操船ミスが多発してしまう参加者もいたが、2日目も事故、ケガなく終わることができた。

2日間の講習会を通して、参加者同士、同じ思いを共有することができ、ハードなコンディションにも負けず講習をやり遂げることで良い刺激を受けることができた。インストラクターからは「講習会を受けて資格をもらって終わりではなく、この講習会で得た技術を今後の活動へ活かしてこそそのレスキュー資格である」との言葉があった。まさにその通りであると感じた。

今回、同じ時間を共有することができたメンバーと同じフィールドで活動できることを期待しつつ、私たち自身もレベルを落とすことがないように、実際の現場において今回の講習会で得た技術や知識を活かして活動していきたいと思う。

